

トヨコ通信

2014年9月号

ホームページ...<http://www.sasada-toyoko.jp/>
E-メールsanbal@sasada-toyoko.jp

発行 : 日本共産党大垣市後援会
発行日 : 2014年9月1日 第148号
連絡先 : 大垣市室本町5-8
Tel 78-6865 Fax 73-8572

部
内
資
料

<笹田区域>
興文中・西中・西部中(宇留生小を除く)
上石津全域



省庁交渉

教育の充実・地域交通等で要望

8月26～27日にかけて、統一会派の議員で文科省や総務省等に来年度予算要望を行いました。(笹田トヨ子)

文科省「教師の多忙化を改善したい」

文部科学省では、少人数学級の実現や今問題になっている教師の多忙化・子どもの貧困等の問題について懇談しました。

初等中等教育局財務課教職員配置計画専門官の話では「民主党政権の時、単発的に35人学級(小学1)が出来たが、今では財務省は全く聞く耳を持たず、定数改善ができない状態である」と。

しかし、国際教員指導環境調査結果では、日本の教員の勤務時間の長さは断トツで、多忙化が問題になっており、「課外活動と事務業務(保護者の対応・地域連携等)に時間が取られているのが主な原因で、スタッフの充実で改善したい」と、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを

増員し、養護教諭も851人以上の学校には複数配置を行うと述べていました。

国交省「地域公共交通は住民参加による協議会の設置が鍵」

大垣市周辺の町では、地域コミュニティバスや乗合タクシー等の導入等が行われ、地域交通政策が進んでいます。しかし大垣市では、ハリンコ号の運行以来コミュニティバスの導入はなされていません。一人暮らしの高齢者や老老世帯が増えており、住民の足を守る地域交通政策の要望が強まっています。

国交省に対して「コミュニティバス施策の促進」を要望し、懇談しました。この中で、地域特性や実状に応じた最適な生活交通ネットワークを確保・維持するため、幹線バス等の地域間交通ネットワークと密接な地域内のバス交通・デマンド交通の運行についての支援があると説明があり、またタクシー事業者や住民自身が白ナンバーで運行する等柔軟に対応することも可能で、住民と事業者と行政の協議会を作って、地域に応じた公共交通政策を作ることが必要であるとのことでした。

国民の立場で真実を伝え続ける
しんぶん赤旗をお読みください。
日刊紙...3497円 日曜版... 823円



国交省で要望書を渡す統一会派議員



「先生、バイトがあるのでゼミの合宿は休みます」

8月25日(月)、ブラックバイト問題の学習会に参加しました。

「子どもとお金と、どっちが大切なんや」と詰められ、授業時間以外の準備時間は労働時間にカウントされない塾講師アルバイト。余ったおでんを買わされるコンビニバイト。そんな「学生であることを尊重しないアルバイト」を講師の矢崎弁護士はブラックバイトと紹介。「そんなふざけたバイトは辞めればよい」と反射的に思いましたが、「辛いならバイトを辞めればよい、とはいかない」と矢崎弁護士。「辞めれば生活に困ってしまう。もやしばかりの食生活になってしまう。背景には大学生の貧困、ひいてはその親の貧困、奨学金の借金化の問題、そもそも高すぎる学費がある」とのこと。ここ大垣でもまずは実態を把握したいと考えております。情報をお寄せ下さい。(中田)

定数削減の目的は「優れた議員」を選出するため???

25日の議会運営委員会で、岩井議員は定数削減の理由を「より優れた議員を選出するため」と発言しました。しかし私にはなぜ定数削減が「優れた議員を選ぶ」ことになるのか理解できません。今の大会市議会はテレビ放映もなく議会が見えません。市民は「優れた議員」をどのように判断するのでしょうか?

国政とちがって地方議会は本来直接民主主義が基本です。厳選された「優れた議員」で決めるより、住民の声をより多く議会に反映させ、議論することが大切ではないでしょうか。(笹田)

お知らせ 9条の会・おおがき総会
9月7日(日)午後2時より
場所: スイトピアホール
記念講演: 「元自衛官が語る9条の輝き」

集团的自営権と特定秘密保護法に異議あり
岐阜県弁護士会9・21一斉行動
9月21日11:00~、大垣駅北広場にて

グリーン車裁判公判
日時: 9月22日、午前10時より
場所: 岐阜地方裁判所 号法廷
この日は野田議員の証人尋問と宇津原告の陳述が行われる予定です。多数の傍聴を

9月議会 議員定数・報酬削減は？ 22議案の提出

8月25日、大垣市議会は議員運営委員会を開き、9月定例会に補正予算・条例・請負契約・損害賠償・など22議案を審議する日程を別表のとおり決めました。

定数削減か議員報酬削減か

委員会では、自民クラブが提案した定数2削減についての各会派の協議回答を9月3日までに議長に報告することになりました。これに対して、統一会派からの議員報酬削減についても回答を同日までに議長に報告することになりました。

議会でのこれらの取り扱いに目が離せません。

水痘ワクチン・肺炎球菌ワクチン接種を予算化

厚労省が予防接種法施行令を改正したことともない、水痘ワクチンと高齢者肺炎球菌ワクチンが定期の予防接種の対象疾病になり、10月1日から施行されます。

大垣市では予防接種事業費として1億1270万円を補正予算に組み込みました。

水痘ワクチンは生後12月～36月に至るまでの間にある者(2回接種)、肺炎球菌ワクチンは65歳の者と一部障害のある60～65歳の者が対象で、肺炎球菌ワクチンは自

己負担金3000円(2/3補助)が必要です。

留守家庭児童教室

保育料が上がるケースも

今議会で「大垣市留守家庭児童教室の設置等に関する条例」の一部改正が予定されています。

これは、教室の開設時間を拡大することにもない、保育料の額を改定するとしています。

留守家庭児童教室は、「小学校に就学する第1学年から第4学年までの児童のうち、保護者等の保護が月15日以上欠ける家庭の児童」が対象で、保育料は月額11000円を上限としています。

平日は放課後6時までが保育時間ですが、夏休みなどの長期休業期間は午前8時～午後6時までで、長期休業期間のみの保育も同じ保育料では不公平ではないかとの声もありました。

今回の条例改正は、こうした声も受けて、月額11000円の上限額をはずすものですが、利用者の中には保育料が上がるケースもあって困惑もひろがっています。

損害賠償に5210万円

緑の村の落枝事故補償も

今回提出されている補正予算案には、市民病院の医療事故の賠償

9月議会日程

- 1日 議員総会
本会議
- 3日 一般質問申込み・抽選
- 8日 本会議(一般質問)
- 10日 決算委員会
- 11日 子育て支援日本一対策委
市民病院に関する委員会
- 12日 建設環境委員会
経済産業委員会
- 16日 文教厚生委員会
企画総務委員会
- 17日 議会運営委員会

金400万円のほか、かみいしづ緑の村で起こった落枝事故の賠償金4810万円も組まれています。

この事故は、2012年11月に、上石津の緑の村公園で森林体験イベントに参加していた市内の小学一年生の女兒が、落ちてきた枝で死亡した痛ましい事故でした。

今年8月6日には岐阜県警が公園を管理している指定管理者の公社理事長を書類送検したとのニュースで記憶の方も多いと思われます。

議会への関心の高まりが 市政発展の決め手

一部会派では、議会改革の名で定数削減が語られています。質問議員や質問項目の事前公表やテレビ中継実施で、市民の議会への関心が高まれば、一般質問に立つ議員ももっと増えるでしょう。質問の準備は議員の資質を飛躍的に高めます。そうした本物の議会改革が望まれます。

風力発電予定地上石津現地視察 低周波振動・環境破壊・土砂崩れが心配

県警が人権侵害

上石津の風力発電の動きをめぐり、7月24日の朝日新聞トップで「岐阜県警が個人情報漏洩」と大きな見出しで、岐阜県警が反対派住民らの個人情報を中電子会社「シーテック」に流していたことが報道されました。「違法に情報を収集し運動つぶしに情報を企業に提供する」警察の行為は憲法違反の人権侵害です。

現地視察で分かったこと

8月24日、この事件でクローズアップされた上石津の風力発電について、現地見学会が開催され参加しました。案内は上鍛冶屋地区の松島さんで、風力発電に反対し警察によって個人情報を流された一人です。

まず建設予定地の山が見える多良小学校の近くで説明を受けました。風車の羽根は長さ約50m高さ

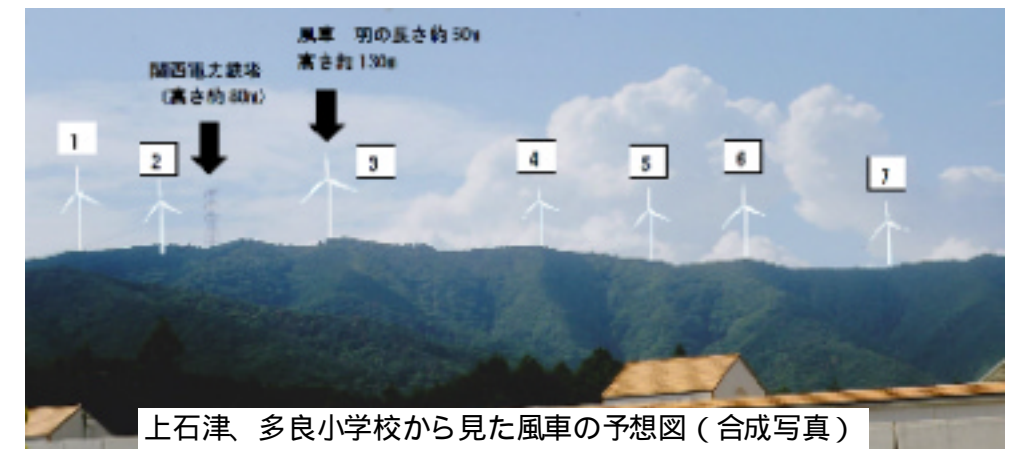
約130mで鉄塔より高く、3000kW級の風車16基が建設される予定で、景観が全く変わってしまいます。

風車から民家まで1.8kmの奥地区、1.9kmの谷畑地区、2.3kmの上鍛冶屋地区と回りましたが、風車から近く低周波振動の健康破壊が心配されます。

また、風車設置のためには山頂まで道路幅を5mに拡幅しなければならず、設置場所は20m四方の場所をとり、これだけでも環境破壊となり、土砂崩れなどの心配も出てきます。

風力発電費用対効果あるの？

この地域の気象状況から伊吹おろしの冬は電気をあまり必要とせず、電気を必要とする夏は風が少ない、費用対効果はあまり期待できず採算はとれないとのこと。



上石津、多良小学校から見た風車の予想図(合成写真)